

まちの としょかんからのおしらせ

2018.10月 No.3



～読書週間～ おすすめの絵本

絵本作家・絵本画家さんの中には、新潟県出身の方も多くいます。新潟に生まれた感性で描かれる絵本を読んでみませんか？



	タイトル	作者	出版社	請求記号
1	ぼくんちどうぶつえん	正道 かほる／文	童心社	KEオ
2	モリくんのおいもカー	かんべ あやこ／作	くもん出版	KEカ
3	りんごです	川端 誠／作	文化出版局	KEカ
4	うえきばちです	川端 誠／作	BL出版	KEカ
5	でんぐり でんぐり	黒井 健／作	あかね書房	KEク
6	かぜひきころわん	黒井 健／絵	ひさかたチャイルド	KEク
7	ぼくがいちばん！すごいでしょ	サトシン／文	PHP研究所	Eヤ

新潟県の作家

たつひで 松岡 達英

絵本「ぴょーん」でおなじみの松岡達英さんは、長岡市の出身。楽しい赤ちゃん向けの絵本だけでなく、世界各地を取材して多くの自然科学の絵本を手掛けています。松岡さんのイラストからは、生き物や自然を精密に描写しながらも、優しさが伝わってきます。



「しりとり」

ポプラ社 (Eマ)

「ぴょーん」と同じシリーズの一冊。おなじみの生き物から、ちょっと普通のしりとりではお目にかからない動物まで。松岡さんの丁寧な描写で描かれた仲間たちがたくさん登場します。



「あまがえる先生 1ねんずかん」

ポプラ社 (Eマ)

まるで写真のように正確な絵で、身近な生き物や自然を知ることができる絵本。大人も楽しめるシリーズです。

